

令和6年2月28日

日野町議会議長 中原 信男 様

日野町議会議員 小河 久人

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の趣旨・背景	質問の要旨 (具体的に回答を求める事項)	質問の 相手
<p>日野町の農業について</p>	<p>現在日野町には小規模な農家が多く、出荷せず自家用米だけを作付けしたり、農林振興公社などへ作業を委託されている方もおられます。</p> <p>小規模な農家には、現在は補助制度が少なく、多くの農家は赤字になりながら耕作しており、「米や野菜を買った方が安い」という声をよく聞きます。</p> <p>さらに広さや日照条件が悪い農地は借り手もおらず、耕作放棄地が増えており、道路から見える田畑にも耕作放棄地が目立つようになってきました。</p> <p>その背景には米価下落、燃料・肥料・農薬の高騰、後継者不足など課題が多々あると思います。</p>	<p>1. 小規模農家への支援はこれまでどのような政策がありましたか。また、今後どのような取り組みを考えておられますか。</p> <p>2. 11月に議会の総務経済常任委員会が日野町の農林業施策に関する提言書を出しましたが、それに対する町長のお考えをお聞かせ下さい。</p> <p>3. 昨年度、鳥取県西部地区内で水稲にカメムシの被害が出て収穫が下がり、廃業に追い込まれた農家もあります。本町にも同じような被害が起こるかもしれません。新たに農薬や肥料の購入補助金や収穫量が減った場合の補償制度などを作るお考えはありますか。</p>	<p>町長</p>